

右 左 腎摘除術を受けられる患者様へ

病棟名 _____

様 _____

看護師 _____

経過日時	入院時	手術当日手術前	手術当日手術後	手術翌日	術後1日目	術後3-6日目	術後7日目	術後9日目(退院)
	入院日(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)
目標	・術前オリエンテーション、面談内容が理解でき、不安が表出・緩和できる ・手術に身体的、精神的に安定した状態で臨むことができる		・脈や血圧が安定している ・呼吸状態が安定している ・苦痛があることを医療者に伝えることができる ・苦痛が最小限にコントロールされる		・鎮痛薬を定期的に使用し、疼痛コントロールができる ・一人で病棟内を歩行できる ・38度以上の発熱がない		・鎮痛剤を1日1-2回使用し、疼痛のコントロールができる ・38度以上の発熱がない	・退院後の生活の注意点がわかる
検査	□採血があります	手術入室予定時間 (: 頃)	体温、脈拍、血圧を定期的に測定します 	朝6時頃に採血があります レントゲンの撮影があります				病理検査の結果が出ていれば主治医から説明します
治療		午後から手術の場合は、術前より点滴をします	術後、点滴を続けます 	1日中点滴を続けます	眠前で点滴は終わります			退院
説明・観察	看護師がこれまでかかった病気、飲んでいる薬などについて伺います。氏名確認のためのリストバンドをつけさせていただきます 手術に備えて、和式の寝衣、T字帯、腹帯、バスタオルを各2組、吸いのみまたはストローを用意しておいてください   同意書に必要事項をご記入の上、看護師にお渡しください。 麻酔科医による診察があります	時計、指輪、眼鏡、コンタクトレンズは予めはずしておいてください。入れ歯は必ず必要はありませんが、看護師までお知らせください ()時以降、飲水不可となります。朝の内服薬は別紙にて説明します	傷の状態、尿の状態、発熱の有無を適宜観察します 痛み止めの注射をしていますが、それでも傷の痛みがある場合はお伝えください	まず看護師と一緒に座ったり、歩いたりしてふらつきがないか確認します。異常がなければ以後歩行可能です また歩行ができれば尿道の管を抜去します 	食事と薬を再開します 			退院後の留意点について看護師が説明いたします 次回外来受診日を説明します 
処置			尿道とお腹に管が入っています 酸素吸入を行いません。状態に応じて痛み止めの注射が入っています	酸素吸入は終了します 毎日傷の状態をみます お腹の管が入ってるところのガーゼ交換をします		お腹の管からの排液量が少なくなったら管は抜きます 傷が治癒すればガーゼははずします	傷の状態を確認した後、必要時抜糸します 	
入浴	シャワー浴可  → 入浴禁止			体拭き  →		お腹の管を抜いたらシャワーに入ることができます 		
活動	歩行可	歩行可	ベッド上安静 	歩行可				
食事	常食	禁飲食 	禁飲食	昼から飲水開始 	朝 5分粥食 昼 7分粥食 夕 全粥食	常食		

注 入院期間については、現時点で予想されるものです